職場での熱中症対策を徹底しましょう！

沖縄労働局発表　令和6年4月30日

沖縄労働局発表　令和6年4月30日沖縄労働局（局長 柴田 栄二郎）は、令和6年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」のキャンペーン期間を前に、関係団体に対し熱中症対策の周知等の依頼をしました。

1　熱中症による労働災害の発生状況等

(1)　令和５年の発生状況（令和６年４月 10 日確定値）

死亡者は0人。休業４日以上の被災者は、前年（11 人）より２人多い 13 人だった。(別添１参照)

内訳をみると、業種では商業（商業には不動産業、レンタカー業を含む）が最多の４人となっており、全体の 30.8%を占めた。(別添２、別添３（図1表）参照)

(2)　県内における過去 10 年間（平成 26 年から令和５年）の熱中症による休業４日以上の労働災害の発生状況について

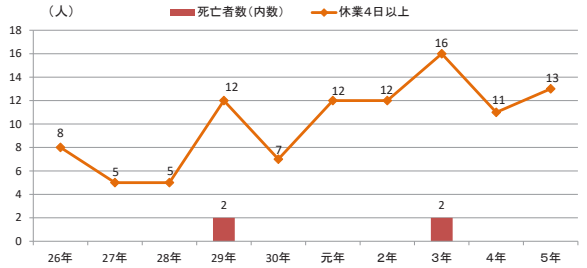
①建設業が全体の 28.7%を占めた。(別添３(図1グラフ) 参照)

②発生時期は６～８月の３か月間で全体の 78.2%を占めた。(同 (図２) 参照)

③時間帯では 15 時台が 16.8%、次いで９時台以前、11 時台及び 17 時台がともに 11.9%で多く発生した。(同 (図３) 参照)

沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況の推移（平成26年～令和5年）　別添1

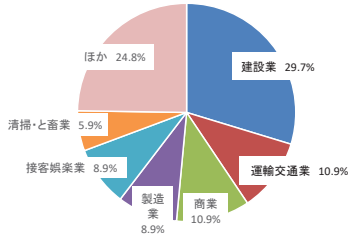
令和5年は令和6年4月10日時点確定値
※労働者死傷病報告により集計したもの。



沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生状況（平成26年以降、休業4日以上）　別添3

令和6年は令和6年4月10日時点確定値
※図1～3の何れも労働者死傷病報告により集計したもの。

図 1 業種別発生状況（平成 26 年～令和 5 年）



	建設業	運輸交通業	接客娯楽業	製造業	商業	清掃・と畜業	ほか	全体
計(人)	30 (3)	11	9	9	11	6	25 (1)	101
うち令和5年	4	1	0	0	4	1	3	13
令和5年割合	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	7.7%	23.1%	100.0%

※「ほか」の業種は、貨物取扱業、農林業、畜産・水産業、教育・研究業、保健衛生業、その他の事業が含まれる。
※（　）内は死亡者数であり、その業種の内数である。「ほか」の内数は「その他の事業（警備業）」である。
※グラフ上のデータ割合および「令和5年割合」は小数点第2位を四捨五入している。

沖縄労働局管内における熱中症による労働災害発生事例（令和5年、休業4日以上）　別添2

（令和6年4月10日時点確定値）

番号	所轄署	災害発生日	業種	年齢	性別	被災程度	災害発生状況
1	沖縄（中部）	令和5年3月下旬	商業	30代	男	22日	砂浜で、写真撮影の備品であるコンクリートブロックや造花を運んできたところ、作業開始してから1時間から1時間半後、手に力が入らなくなった。
2	那覇（南部）	令和5年6月上旬	建設業	30代	男	5日	ヤード内にて、台風養生の片づけをしていたところ、10時の休憩時に気分が悪くなり、そのまま倒れ、痙攣を引き起こした。
3	那覇（南部）	令和5年6月上旬	運輸業	30代	男	2ヶ月	倉庫内で、ピッキング終了後、ひと段落ついたとき、初出勤でかなり緊張しており、水分補給を行っていなかったため、気を失い、顔面から倒れた。
4	沖縄（中部）	令和5年6月上旬	商業	30代	男	5日	客先で、野外機器取付作業中（午前10時頃から業務を開始し、お昼休憩を挟んで13時より業務再開）その後14時半あたりからめまいを感じ気分が悪くなった。
5	沖縄（中部）	令和5年6月上旬	商業	50代	男	6ヶ月	気温30℃前後の真夏日、帽子等暑さ対策はしていなかったところ、粗大ごみ回収時、直立状態からひとりでに後方に倒れこんだ。
6	宮古	令和5年7月上旬	商業	60代	男	9日	車3台洗車した後、体調不良になった。
7	那覇（南部）	令和5年7月下旬	ビルメンテナンス業	60代	男	6日	駐車場にて、駐車整備業務中に体調不良を訴えて、病院を受診した。
8	那覇（南部）	令和5年7月下旬	建設業	70代	男	10日	ヤード内で通常作業（仮設資材整備）中に気分が悪くなり、意識が朦朧とした状態だったので、救急要請。
9	那覇（南部）	令和5年8月上旬	建設業	40代	男	4日	ヤード敷地内、台風後後片付け作業を2名で行っていた。15時頃からめまい、汗が止まらなくなったが、少し休憩すると回復したので定時まで勤務。後日、体調に違和感があり受診し入院した。
10	沖縄（中部）	令和5年8月中旬	その他の事業	40代	男	8日	イベントで使用するテントの設営を行った。作業中から頭痛があったが、その日は受診せず。翌日も同じ作業を行っていたが、熱中症と判断し、午後から受診した。
11	沖縄（中部）	令和5年8月中旬	水産業	30代	女	1週	水を抜いた池の中で石集めをしている時に、炎天下であったのに休憩や水分補給を怠ってしまい、目の前が真っ暗になってめまいや吐き気がして、次第に手足のしびれや痙攣が起こり、呼吸も速くなったため、救急車で運ばれた。
12	名護（北部）	令和5年8月下旬	建設業	40代	男	5日	ブロック積みの途中に日差しが強く、木陰に入りながらこまめに休憩を取って作業していたが、体調不良を訴えた。
13	那覇（南部）	令和5年10月上旬	警備業	60代	男	1週	観光バスやタクシーの車両の交通誘導中に気分が悪くなり、交替した直後に嘔吐、左手の痙攣があり救急車で病院へ運ばれた。

※　労働者死傷病報告により作成したもの。

2　沖縄労働局の取り組み

令和６年も４月を準備月間として、５月から９月までの期間で「STOP！熱中症　クールワークキャンペーン」を実施します。４月の準備期間中に「暑さ指数（WBGT）※の把握の準備」などに取り組んでいただくため、沖縄労働局では、関係団体等を通じてキャンペーンの周知を呼びかけるとともに、各事業場における熱中症対策の徹底を指導する。

※ 暑さ指数（WBGT）とは

気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数。

＜主な予防対策＞(別添４参照)

① 暑さ指数（WBGT）の把握とその値に応じた熱中症予防対策を適切に実施すること

② 作業を管理する者及び労働者に対してあらかじめ労働衛生教育を行うこと

③ 衛生管理者などを中心に事業場としての管理体制を整え、発症時・緊急時の措置を確認し、周知すること。

(参考：関連情報)

- 厚生労働省「令和６年「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を実施します
  https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_38059.html
- ポータルサイト「学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報」
  https://neccyusho.mhlw.go.jp/